

2011年度

科目名	西洋史概説B				
担当教員	小林 典子				
配当	文財2・人社2			コード	13043
開期	後期	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	「西洋史入門－現代から眺めるヨーロッパ史：ルネサンスから現代まで」				
目的と概要	遠くは古代ギリシャ・ローマに源を発し、現代まで悠々とながれるヨーロッパの歴史を、ルネサンス時代から現代までを概観します。ヨーロッパの歴史と文化がどのようなものであり、また、わたしたちの生活にどのような意味をもつのか。ヨーロッパ史のもつ、歴史的時間の限りない深さと広大さ、そして豊饒さを実感しえる授業にしたいと思います。授業は建築・彫刻・絵画・都市などの数多くの視覚資料を、スライドやビデオなどの教材を用いて紹介しながらおこないます。				
成績評価法	学期末に提出するレポート(70%)+平常点や授業時のミニ・レポート(30%)				
テキスト	授業中に資料配布				
参考書	『＜ビジュアル版＞ヨーロッパの革命 二重革命の時代―フランス革命と産業革命―』(遅塚忠躬 講談社) 『山川世界史総合図録』および必要に応じて指示				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	覚える歴史でなく、考える歴史へと発想転換し授業にのぞんでほしい。 授業でとりあげるトピックスを介して、歴史の最前線としての現在－わたしの今・ここを考える。 レポートは授業内容との関連を重視するので、しっかりとノートを取ることを。				
講義計画					
第1回	開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション				
第2回	書物の歴史と言説				
第3回	近代の夜明けとしてのルネサンス				
第4回	ルネサンス概念の成立				
第5回	ルネサンスの開花				
第6回	ルネサンスの成熟				
第7回	ルネサンス概念の検証と問題点				
第8回	ルネサンスを準備したもの（1）アラビア世界と「12世紀ルネサンス」				
第9回	ルネサンスを準備したもの（2）十字軍と東方世界との交流				
第10回	もうひとつのルネサンス：ユマニスム（人文主義）				
第11回	近代市民社会の成立（1）				
第12回	近代市民社会の成立（2）				
第13回	「近代」がかかえる問題―新世紀にむかっのさまざまな実験				
第14回	「ポスト・モダン」と現代				
第15回	まとめ				